

SC、SSW、SSS、どれも学校に関わる役職名を簡略化したものである。ALTならば定着してきただろうか。もはや誰も正式な名称を言葉にしなくなっている。

SCはどうだろうか。歴史が長いので、もう市民権を得ているだろうか。SCは、スクールカウンセラーである。この役職へのニーズは、年々高まっている。もはや、学校にはなくてはならない存在である。

では、SSWとは何か。スクールソーシャルワーカーである。この役職も、ここ数年、その必要性が高まっている。約10年ぶりに中学校に勤務することになった私だからこそわかることがある。今の学校は、SCともSSWとも連携がとれるようになっている。10年前とは隔世の感がある。

さて、SSSとは何か。スクールサポートスタッフのことである。この役職の業務は多岐にわたる。今まで学校の教員が担っていた業務の一部を請け負っていただいている。本校にもSSSが配置されている。毎日、活躍していただいている。

4月の前半は、自分の仕事をSSSの方をお願いすることに、どうも抵抗があり、躊躇してしまう自分がいた。仕事と言っても印刷なのだが、それなりに時間はかかる。SSSの方のおかげで余裕が生まれる。他の先生方も同様であろう。

野田中学校に来て、実に久しぶりに印刷機を使った。私が知っている印刷機とは違っていた。性能が格段にアップしていた。まだ20代の頃は、生徒会担当として、生徒会総会の議案書を徹夜で印刷したことがあった。3台の印刷機をフル稼働させ、何とか間に合わせた。酷使に堪え、よく壊れないでがんばってくれたものである。「頼む、朝までもってくれ」と祈るような気持ちで一晩中印刷していたことを思い出す。また、教務主任のときには、2週間ごとに学校だよりを発行するたびに、半日かけて印刷機をまわしていた。

だから、印刷機というと、あまりいい思い出はない。だが、懐かしさはある。今の印刷機は、性能がよく、トラブルが起きにくい。昔は、よく紙がつまったり、何だかんだと忙しいときほど、何か起きた。そして、手は真っ黒になるのだった。

ようやくSSSの方に印刷をお願いすることが毎週のルーティンとなってきた。だが、まだ慣れない。いまだに抵抗がある。この前は、急遽、特別なミッションをお願いした。それでも、すぐに対応していただいた。一緒に作業をしながら、子育ての話などをした。それはそれで有意義な時間となる。

もはや、SSSは私にとってなくてはならない存在となっている。ルーティンのお仕事をお願いするのは、木曜日と決まっている。金曜日には、生徒と先生方向けに「校長通信」、そして、先生方向けに「職員室だより」を発行することになっているからである。

本日は木曜日である。10時前には、校長室に「印刷が終わりました」とSSSの方が来てくださる。これもルーティンになってきた。「校長通信」も「職員室だより」も、私にとっては新たな取組である。それを支えていただいているのがSSSの方である。ありがたい。

実に丁寧で、信頼できる仕事ぶりである。見習うべき点が多い。私にとってはスクールサポートスタッフではなく、PIPである。プリンシパルズ・インポータント・パートナーである。